

交渉情報	NO.12	日本郵便信越支社 郵便・物流オペレーション部
JP労組信越地方本部	2016年9月8日	添付資料:81枚

2016年度コメゆうパック運送計画について

日本郵便信越支社郵便・物流オペレーション部は、本日（9月8日）「2016年度コメゆうパック運送計画」について地方本部に説明してきました。

標記概要は、新潟県各地域における「コメゆうパック」等の取扱増加に対応するため、臨時運送施設を設定し、円滑かつ効率的な運送を確保するものです。

支社資料は別紙1～3が方面別差立オペレーション計画並びにパレット作成方一覧、また臨時運送便ダイヤが記載されていますので、参照願います。

今年度についても荷量の増加に対応するため、運送便の増強を実施し「早い集荷（午前中集荷）」及び「重量物ゆうパック取扱い（余裕承諾）」を行い、既定地域内上一便・既定回送便及び管外既定運送便を有効活用し、高額となる夜間帯運送費の削減及び管外到着局における繁忙時間帯の業務緩和に取り組むとしています。

期間中の取り扱い個数については、昨年と同数と見込んでおり個数については約31万個を想定しています。

また、今年度においては94地域、六日町集約エリア（六日町・塩沢・五日町郵便局）については米スキー分室を開設し関東・南関東方面のみ直行便にて管外差立を実施し、残りについては長岡局に送付し対応するとしています。

昨年は直行便を東京方面としていましたが方面別、荷量調査により変更としています。

なお、分室の要員配置については、休暇要員も含め昨年と同様の採用予定数としています、94地域の高田集約エリアについては関東・東京方面あてドライゆうパックを高田局で区分し、直行便により管外差立を実施します。

例年、問題となりますパレット不足について支社に質したところ女池分室保管スペースと回送便を活用し対応にあたるとしています、また信越ではりんご対応まで含めた対応に万全を期したいとしています。

実施期間について、94地域、高田局は9月21日から10月21日、米スキー分室は9月20日から10月18日、95地域も女池分室は9月13日から11月18日までの間、ただし差立荷量の推移により延長する場合もあるとしています。

なお、この実施に関してサービス表の改正はありません。

地本は、(1)集荷時におけるお客様との余裕承諾確認のトラブルが発生しないよう職場周知を徹底すること、(2)局舎での保管スペースの確保、(3)施策実施局の要員確保及び配置に万全を期すこと(4)直積などパレット不足の解消を要請し、確認いたしました。

【労使対応】 情報提供